

中央沿線で存在感のある山

滝子山

実施日 2009年10月24日(土)  
 天候 曇り  
 リーダー Aグループ 一柳 昭  
 Bグループ 馬場 清士  
 参加者 Aグループ 一柳昭、福島政幸、渋谷賢寿、渋谷京子  
 Bグループ 馬場清士、涌井良明、島本陳重、鈴木恵美子  
 計8名  
 費用 JR 1,310円(高尾 大月 570円、初狩 高尾 740) タクシー 750円  
 (高尾起点) 計 2,060  
 タイム A 大月(8:20 タクシー) 道証地蔵(8:50) 曲沢分岐(9:50) 滝子山(11:20) 以下B参照  
 B 大月(8:20 タクシー) 寂瑋苑(8:40) 浜立分岐(11:10) 滝子山(11:30 ~ 12:03) 桧平(12:33) 林道終点(14:00) 初狩駅(14:40)

Aグループは道証地蔵、Bグループは寂瑋苑でタクシーを降りた。笹子駅から歩いて来たと思われる登山者が結構歩いていて、道証地蔵コースに向かっている。



我々Bグループは、身支度を終えて、寂しょう尾根に向かう。寂瑋苑をやり過し雑木林の中に行く。

だんだん急な道になり、山肌をジグザグに高度を稼いで行くと、ちらほら黄葉が見えてきた。鉄塔がある所で尾根に乗り、高度を上げて行くと黄葉が濃くなる。道が段々と岩っぽくな



ってきて岩場が出てきたが、緊張感も無く簡単に越えた。岩尾根が次第に痩せてきて次の岩場が出てきたが、短い鎖が確保さ

れているし、ホールドもスタンスも充分で登りやすい。楓やもみじの赤が素晴らしい色をしている。晴れていれば



背後に富士山が見える頃だが残念だ、素晴らしい紅葉で我慢する。一休みして痩せ尾根を行くと大きな岩

場が出てきたが、3点確保で慎重に越えて行く。黄、紅葉を見ながら、暫く急登をすると浜立山への尾根に出て滝子山へ向かう。Aグループが山頂に先着して、昼食を摂っていたところに合流した。狭い山頂にはかなりの登山者がいて、場所の確保が大変だ。晴れていれば富士山や南アルプスが望めたが、ガスが掛かり見えない。



結構寒くて昼食も早々に下山を開始する。トラロープが掛かるが急降下が始まり、桧平で一休みしてクヌギやナラの樹林帯を下山した。



寂瑋尾根は、事前にガイドブックやネットで調べていた程、難しいとは感じなかった。勿論、あまく見ている訳ではないが、マークも多く、ホールド、スタンスも充分で、3点確保の基本をしっかりとやれば、山慣れた人ならば結構楽しい尾根だと思う。

Aグループ、Bグループに参加された皆さん有難うございました。また一緒にしましょう。

(記・馬場 清士)  
 (写真提供・涌井良明)

